

相談窓口・リビングラボ一覧

名称【所在地】	特徴・ニーズに応じた取り組み【担当県】
（福）北海道社会福祉協議会 北海道介護ロボット普及推進センター【札幌市】	道内4カ所にて出張展示を実施。広大な北海道エリアのカバーを目指す【北海道】
（福）青森県社会福祉協議会 青森県介護啓発・福祉機器普及センター【青森市】	介護ロボット選定・導入のポイントやWEBやテレビを活用して周知【青森・秋田】
（公財）いきいき岩手支援財団 岩手県高齢者総合支援センター【盛岡市】	沿岸地域の小規模な介護施設も体験できるよう、出張型の体験展示会を実施【岩手・宮城・山形】
新潟県福祉機器展示室 介護ロボット相談窓口【新潟市】	地元の地方紙の掲載や、担当エリアへの通知など、広報活動に注力【新潟・群馬・長野】
とちぎ福祉プラザモデルルーム 福祉用具・介護ロボット相談・活用センター【宇都宮市】	6月に新たに開設【栃木・福島】
（福）埼玉県社会福祉協議会 介護すまいる館【さいたま市】	HPで、相談窓口職員が介護ロボットに対する使用感をわかりやすく紹介【茨城・千葉・埼玉】
（社）横浜市リハビリテーション事業団 横浜市総合リハビリテーションセンター介護ロボット相談窓口【横浜市】	WEB研修や個別相談を通じ、介護ロボットを効果的に活用するための方法を解説【東京・神奈川・山梨】
（福）富山県社会福祉協議会 福祉カレッジ介護実習・普及センター【富山市】	富山県介護ロボットサポーター連絡会を設置し、より専門的に介護ロボットの導入を支援できる人材育成や、地域のネットワーク拡大【富山・石川・岐阜・福井】
（国研）国立長寿医療研究センター 健康長寿支援ロボットセンター【愛知県大府市】	在宅介護現場のニーズを開発企業に知ってもらうセミナー開催【愛知・静岡・三重】
ATC エイジレスセンター 介護ロボット相談窓口【大阪市】	介護・福祉機器を提供する企業に対し、販売事業者との商談機会を提供【大阪・滋賀・奈良・和歌山】
ひょうごKOBЕ介護・医療ロボット開発・導入支援窓口【神戸市】	情報提供や機器の体験、導入事例の紹介など、専門家による伴走的支援【兵庫・京都・鳥取】
（社）健祥会 徳島県介護実習・普及センター【徳島市】	在宅系の事業所も対象に、試用貸出リスト付きのチラシと申込書を配布【徳島・香川】
（一社）日本福祉用具供給協会 広島県ブロック【広島市】	学生への周知を目的に専門学校の空きスペースを活用して体験展示予定【広島・山口・岡山・島根】
愛媛県介護実習・普及センター【松山市】	6月に新たに開設【愛媛・高知】
九州介護ロボット開発・実証・普及促進センター【北九州市】	オンラインセミナーや展示会の出展により、遠隔地域にもアプローチ【福岡・佐賀・長崎】
（福）大分県社会福祉協議会 大分県社会福祉介護研修センター 大分県介護ロボット普及推進センター【大分市】	6月に新たに開設【大分・宮崎】
鹿児島県介護実習普及センター【鹿児島市】	奄美大島等の離島での体験展示など、遠隔地域に実機を見せる機会創出【鹿児島・沖縄・熊本】
東北大学青葉山リビングラボ【仙台市】	複数の介護ロボットの連携システムを構築。次世代介護ロボットの開発支援
Care Tech ZENKOUKAI Lab（（福）善光会サンプラザ総合研究所）【東京都大田区】	年間50社以上支援。企画・評価・マーケティング等幅広く対応
Future Care Lab in Japan (SOMPOホールディングス、SOMPOケア)【東京都品川区】	実際の介護施設でも検証。入居者の活動量・食事量・睡眠データ等の状態変化も分析
柏リビングラボ（（国研）産業技術総合研究所）【千葉県柏市】	模擬生活室や人工気候室を保有。地域の介護関係者や住民からも意見聴取
藤田医科大学 ロボティックススマートホーム・活動支援機器研究実証センター【愛知県豊明市】	リハビリテーション科専門医やPT、ST、リハビリテーション工学士が対応
（国研）国立長寿医療研究センター 健康長寿支援ロボットセンター【愛知県大府市】	20以上のプロジェクトが進行中。動線解析による介護効率の分析などに注力
ロボット活動支援機器実証センター（吉備高原医療リハビリテーションセンター）【岡山県加賀郡】	脊髄損傷者のリハビリテーション専門医師、PT、STによる、臨床現場での使用可能性の評価、改良点など助言
スマートライフケア共創工房（九州工業大学）	介護・医療ビッグデータの収集や分析、人材育成の取り組みにも注力

（25面につづく）

一方リビングラボは、実際の生活空間を再現し、新しい技術やサービスの開発を行う拠点。製品の安全性や使用効果の評価・検証、実証における専門的・技術的な助言を実施。企業に

業務見直し、アドバイス

プラットフォーム事業では現在、相談窓口17カ所・リビングラボ8カ所が設置されている（左表参照）。これらの整備により全国版プラットフォームを構築していく。

厚生労働省老健局の高齢者支援課・東好宣課長補佐は「サービスの質の確保」と『職員の負担軽減』に向けた現場の生産性向上を目指す。『職員の負担軽減』に向けた現場の生産性向上を目指す。『職員の負担軽減』に向けた現場の生産性向上を目指す。『職員の負担軽減』に向けた現場の生産性向上を目指す。

ニーズ捉えた開発支援

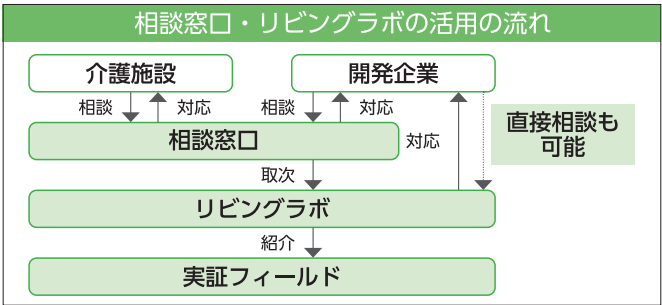
施設系だけでなく在宅系サービス事業者からの相談も受け付けている。主な相談内容はテクノロジーの種類に関する情報収集が多く、昨年度は全713件の相談が寄せられた。

具体的には、見守り支援機器の導入を希望する施設など、他施設への普及促進を図る狙いだ。



厚生労働省は2020年より、「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業（以下・プラットフォーム事業）」として、相談窓口・リビングラボを全国各所に設置している。相談窓口では、介護事業者からテクノロジーの導入・活用に関する相談と、開発企業から製品の開発・PRなどに関する相談を受け付ける。リビングラボでは、ニーズを踏まえた製品の評価・検証を支援する。厚生労働省は「テクノロジーに関する課題であれば、何でも相談してほしい」と活用を呼び掛けている。

から、機器の概要や導入手順について相談があった。解決したい課題を整理し、機種選定の支援や講習（WEB）、展示場にて試用体験（3回）、導入に向けた補助金申請などをサポート。介護ロボットの機器導入検討委員会が立ち上がり、運用開始に至っている。





医療法人社団 和啓会

メディクス(MEDICS)とは

医療による【Medical】
顧客満足【Customer satisfaction】を行う
当院の想いです。



つしま医療福祉グループ

Tsushima Health care & Welfare Group

高齢者や障がいのある方など すべての人々が自立し、その人らしく暮らせる 地域共生社会の実現を目指しています

- ◇ 社会福祉法人 ノテ福祉会(札幌・仙台・東京・千葉)
- ◇ 社会福祉法人 日本介護事業団(奈良江・江別)
- ◇ 学校法人 日本医療大学
- ◇ 医療法人社団 日本医療大学
- ◇ 一般財団法人 つしま医療福祉研究財団
- ◇ 一般社団法人 日本特定技能人材サービス
- ◇ NPO法人 シニアアクティブ
- ◇ 農地所有適格法人 株式会社つしまファーム
- ◇ 株式会社 サントラストネットワーク
- ◇ 株式会社 つしまコミュニティ
- ◇ 株式会社 つしまマネージメント

グループ本部: 札幌市豊平区月寒東3条11丁目1番50号
日本医療大学月寒本キャンパス3階 TEL.011-351-6110

中期的見据え 自立的な活用へ

マネジメントの視点で伴走

NTT データ経営研究所

本事業の事務局である我々は、国や自治体・介護現場・機器メーカーのハブ機能を担い、ニーズとシーズの両面から生産性向上に向けた取り組みを支援しています。

介護ロボットが現場に浸透するためには、「生産性向上」について現場への丁寧な説明が必要で、効率化の考え方は「介護側の負担を軽減するもの」と「利用者の自立を促すもの」の2つ観点があり、効果が現れる期間に着目すると「短期間で



先端技術戦略ユニット
Healthcare Implementation Group
アソシエイトパートナー
足立 圭司氏

効果を得るもの」から「中長期的な視野で捉えるべきもの」まで様々です。例えば、腰痛予防のための機器は介護者の負担を軽減し、中長期的な視点で離職の抑制を期待するもの。しかし短期的に見ればその機器を装着する手間を追加することになり、一旦は作業効率が落ちます。中長期的な視点も踏まえ、何のために導入するか、目的をしっかりと組織内で共有することが重要です。

また、補助金ありきで導入しても活用しきれない施設が多く見受け

られます。だからこそ相談窓口では、マネジメントの視点から自立的な活用・仕組化できるように伴走支援をしていきます。

メーカー側は、コロナ禍の影響もあり、現場のニーズに関する調査や実証に対するハードルが高

なっています。『真の現場のニーズに即した機器を開発し、「課題を解決する」価値あるもの』としてフル活用してもらうために、相談窓口やリビングラボなどを上手く活用していただきたいです。例えば、あるベン

チャーのメーカーでは、実証フィールドでニーズのヒアリングと商品改良を短期間で壁打ちのように繰り返して、順調に開発を進めています。

また、この事業は優秀な技術を持った介護業界以外のメーカーの新規参入を促進させる役割を担っています。介護業界は一般市場に比べ、介護保険制度によりマーケットの構造がわかりづらく、ハードルを感じる企業が多いこともわかってきています。そのハードルを出来る限り下げるために、現場のニーズや制度などが基本からわかるよう情報発信に注力していきます。

医療・介護施設用商品

ころやわ

転倒時のみ 柔らかい

骨折リスクを 軽減

設置簡単 工事不要

ご自宅・居室で転倒しても最小限のリスクに

「ころやわ」は、歩行時は固く、転倒時には沈み込み、骨折リスクを低減する「衝撃吸収性」を実現。フローリング転倒時の約半分の衝撃を抑えることができます。

通常時

転倒時

車いす使用時

▲歩行時は固いので歩行もスムーズ

▲転倒時は衝撃を吸収し、利用者の怪我等によるリスクを低減

▲車いすを利用しても凹みはほとんどありません

※画像は開発時のプロトタイプ製品であり、実際にご利用いただく製品は写真ほど大きく凹みません。

し、専門知識を有したサポートが支援する。

運営主体は「介護事業者」「大学」「ナショナルセンター」の大きく3つに分かれる。介護事業者のラボでは現場の意見が聞きやすく、マーケティングの部分までフォローできる点が強み。大学のラボでは、認知症やリハビリなど各大学の専門分野の検証・実証が可能。ナショナルセンターのラボでは、主に倫理審査や安全評価などを担う。

例えば、東北大学青葉山リビングラボでは、次世代介護ロボットの研究開発を行う国内外の研究者との連携により、社会実装を前提とした取り組みを支援している（下囲み記事参照）。これら相談窓口やリビン

企業の新規参入、強化

グラボの活用は、該当地域の相談窓口等で電話・メール・直接相談にて受け付ける。必要に応じて何回でも無料利用可能。

厚生省はプラットフォーム事業に加え、開発企業に向けた「介護ロボットのニーズ・シーズマッチング支援事業」も並行して実施。現場の課題を企業側に広く周知し、よりニーズに即した開発を促進する。

具体的には、相談窓口・リビングラボ等が集まる現場のニーズを集約した「ニーズリスト」を作成し、HPで公開している。施設と在宅における使用場面を分類し、解説。現場の様子

PICK UP!

2050年を想定し開発

東北大学青葉山リビングラボ

8ヶ所あるリビングラボの中でも、同ラボは2050年の未来を想定した画期的な解決策と、近い将来に適用できる現実的な解決策の両輪を見据えた研究開発拠点。

東北大学大学院工学研究科の平田泰久教授がプロジェクトマネジャーを務める「JSTムーンショット型研究開発制度」のプロジェクト内における、次世代介護ロボット研究開発の場として活用される。同プロジェクトは、困難だが実現すれば大きな影響が期待される野心的な目標（ムーンショット）に向け、国が推進するもの。

加えて、現時点で実際に使えるロボットの開発にも尽力。約250㎡のスペースに施設と在宅介護それぞれを模擬した環境を構築し、研究開発に必要な各種計測装置や介護ロボット機器を完備。

例えば、排他感知システムを開発する会社には、実証協力施設の紹介および実証の結果を受け、改良点に関する助言や、マーケティングに関する助言をした事例を持つ。

現すれば大きな影響が期待される野心的な目標（ムーンショット）に向け、国が推進するもの。

加えて、現時点で実際に使えるロボットの開発にも尽力。約250㎡のスペースに施設と在宅介護それぞれを模擬した環境を構築し、研究開発に必要な各種計測装置や介護ロボット機器を完備。

▲模擬環境を用意し、環境適合性など評価

Magic Shields

ころやわ

分割可能で設置が楽々

設置簡単 床に置くだけ

safety

スロープ仕様で車椅子での移動スムーズ

転んだときだけ柔らかい置き床

hard

soft

hard

転倒時のみ 柔らかい

骨折リスクを 軽減

設置簡単 工事不要

ご自宅・居室で転倒しても最小限のリスクに

「ころやわ」は、歩行時は固く、転倒時には沈み込み、骨折リスクを低減する「衝撃吸収性」を実現。フローリング転倒時の約半分の衝撃を抑えることができます。

通常時

転倒時

車いす使用時

▲歩行時は固いので歩行もスムーズ

▲転倒時は衝撃を吸収し、利用者の怪我等によるリスクを低減

▲車いすを利用しても凹みはほとんどありません

※画像は開発時のプロトタイプ製品であり、実際にご利用いただく製品は写真ほど大きく凹みません。

EXCELLENT CARE

お気軽に
お問合せ下さい

■販売代理店 株式会社エクセレントケアサポート

Tel.075-744-6512 Fax.075-744-6547
〒600-8025 京都市下京区河原町通松原上清水町280-1
受付時間 (月～金)9:00～18:00 <https://excare-s.co.jp/>
■製造・販売元/株式会社 Magic Shields